

# 副産物情勢

平成29年11月6日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成29年9月成牛と畜頭数は、84.7千頭(前年比98.4%)となり、前年をやや下回った。 内訳を見ると、和牛34.8千頭(前年比 99.7%)、交雑牛19.3千頭(同 105.7%)、乳牛去勢15.5千頭(同 95.6%)であった。 ○平成29年10月の成牛と畜頭数は、速報値(10/31まで集計)で86.9千頭(前年比98.8%)と減少している。 (独)農畜産業振興機構が10月24日に公表した牛肉の需給予測によると、11月は1日当たりの出荷頭数およびと畜場稼働日数ともに前年を下回ると見込まれることから、出荷頭数、生産量いずれも前年をわずかに下回ると予測している。 品種別の11月出荷予測について、和牛は前年をわずかに下回り、交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率上昇により、増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。 ○需要動向については、全体的によく動いている。赤モノは依然不足気味であるが、需要期の終わりつつあるレバーの動きは鈍ってきた。 シロモノは小腸の引き合いはあるが、輸入品の在庫が多く、国内品も在庫ある状況。シマチョウは動きが良くない。 ミノは輸入モノの値上がりにより国産品の需要が増えてきており、国産サンドミノも在庫タイトの状況。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td><b>9/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>9/枝kg</b>			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>9/枝kg</b>																									
②国産豚	<p>○平成29年9月度全国の肉豚出荷頭数は1,311千頭(農林水産統計10/31公表 前年比96.5%)となった。農水省9月27日発表の9月出荷予測では、1,359千頭(前年比100%)と予測されており、前年をかなり下回る結果となった。 ○平成29年10月の全国と畜頭数は、速報値で1,403千頭(10/31まで集計)、前年同比102.2%となっている。稼働日数では昨年より1日多い21日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で66,790頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成29年11月1日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成29年11月1,483千頭(同101%)12月1,515千頭(同102%)、1月1,420千頭(102%)、2月1,310千頭(100%)、3月1,411千頭(98%)、4月1,327千頭(101%)となっている。 ○需要動向について、アカモノの全体的に動きよい。タン・ハラミは来年の需要時期の在庫もできない状況。 シロモノも全体的に動きよい。需要期に向けて小腸・大腸・直腸引き合い強い。ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で動き良い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td><b>5/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>																									
③輸入牛	<p>○平成29年9月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で60.8千ト(前年比143.9%、前月比129.9%)であった。 内訳は、チルドが25.2千ト(前年比131.5%、前月比99.0%)、フローズンは35.6千ト(同 154.1%、同 166.7%)であった。 チルドビーフについては、豪州産が10.5千ト(前年比 115.7%)、米国産は大幅に増加し13.7千ト(同 148.8%)であった。 ○(独)農畜産業振興機構が10月24日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、主に出荷頭数の増加により米国産の輸入量の増加が見込まれることから、月間2万2千ト前後で推移すると予測する。 ○平成29年9月の冷凍輸入牛レバーは94.4ト(前年比122.0%・前月比125.0%)であった。国別では米国25.6t、豪州41.0t、墨国27.9tであった。 冷凍輸入牛腸は1,066.3ト(前年比84.8%・前月比82.9%)であった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成29年9月の輸出実績は、23,695枚(前年比75.1%、前月比94.6%)で、前年・前月とも下回った。輸出平均価格は4,638円/枚(前年比-180円、前月比-367円)と減少となった。 国別実績は、韓国4,595枚(前年比76.6%)、タイ12,640枚(同167.9%)、香港2,950枚(同なし)、台湾550枚(同なし)、ベトナム2,960枚(同なし)、インドは実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、54.5千枚(前年比82.4%、前月比72.5%)、牛大判皮は37.7千枚(前年比83.4%、前月比80.0%)となった。 ○輸出動向は数量について、回復傾向にあったが伸び悩んでいる。 ○米国の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっている。 また、中国市況の落ち込みと、自動車販売台数低下に連動したカーシート需要の低下が拍車をかけている。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																									
②豚原皮	<p>○平成29年9月の輸出合計は、1,071,350枚(前年比101.4%、前月比108.2%)と、前年・前月とも上回った。輸出価格は787円/枚で前年比+64円、前月比-15円であった。 国別実績は、台湾249千枚(前年比88.6%)、タイ764千枚(同108.1%)、韓国39千枚(同217.9%)、ベトナム12千枚(同25.3%)、フィリピン7.0千枚(同なし)、香港実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中で、ヌバック等の需要がその要因と言われている。 しかし、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、そろそろ豚皮も値下がりするとのお憶測が流れ始めている。</p>																										
3. レンダリング	①油脂等	<p>○9月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は月・前年とも同価格の88円(前年比100%)となり、牛脂も同じく93円(同100.0%)となった。 豚脂は16ヶ月、牛脂28ヶ月の長期保合。 ○9月マレーシア産パーム油相場は、生産増加と在庫量が前月を上回ったが、米大豆油先物相場高により、99円と上げとなった。(前月比107.6%、前年比104.2%)。しかし、9月後半から米大豆相場が軟化したため、10月は下がり基調。 ○9月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比-1円となった。工業用油脂は前月と同様の47円/kgの前年比5円安。 ○9月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円~66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5. 油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年8月1日</td> <td>88</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月1日</b></td> <td><b>93</b></td> <td><b>88</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成26年8月1日	88	93	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	<b>平成28年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>88</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成26年8月1日	88	93																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
<b>平成28年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>88</b>																									